

警察署協議会会議録

八女警察署協議会

開催年月日時	令和元年10月10日 午後4時00分 から 令和元年10月10日 午後5時30分 まで	
開催場所	八女警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、黒木警部交番所長、刑事課係長、交通課長、警備課長、事務局
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>八女警察署の警察官が21歳の若さで亡くなった。まずは御冥福を祈るため、御起立のうえ、黙祷をお願いする。</p> <p>先日、私は、福岡県警察学校の卒業式に出席してきた。</p> <p>今回は、約140名が卒業し、福岡県下の各警察署に配属され、八女警察署には3人の新任警察官が配置されたと聞いている。</p> <p>まだまだ若く、緊張した面持ちであったが、将来の福岡県警察を背負っていく人たちなので、しっかり頑張ってもらいたいと思う。</p> <p>朝夕は、非常に肌寒い季節になってきたが、我々も体調管理に十分に気をつけて頑張ってください。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>会長からも話があったように、八女署員が、21歳という若さで亡くなるという痛ましい交通事故が発生した。</p> <p>亡くなった署員は、今年2月に警察学校を卒業したばかりで、現在は、交番勤務で、一生懸命に勤務に取り組んでいた。</p> <p>事故発生当時は、今まで一緒に働いていた仲間をこのような痛ましい事故で亡くしてしまい、署員全員が動揺していたが、我々は、地域の治安を守るという務めがあるので、やるべき仕事を粛々と取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>また、この後、先月末の9月30日に警察学校を卒業し、八女警察署に配属された3人の新任警察官との座談会を計画している。</p> <p>この3人の新任警察官は、これから警察の仕事だけではなく、社会人として学ばなければならないことが沢山あるので、この機会を捉えて委員の皆さまに御指導いただきたいと思いますのでよろしくお願いする。</p>		

議 事 概 要

【新配置課長紹介】

生活安全課長が自己紹介

【新任配置警察官と委員との座談会】

1 新任配置警察官が自己紹介

2 質疑応答

- 委員から「八女警察署に配属され、八女市や広川町の町並みを見て感じたことは？」旨の質疑があり、新任配置警察官等から、「昨日の交番勤務時に、オートバイ、普通自動車等数十台による暴走行為の目撃通報があり、事案対応したが、数の多さに非常に驚いた。」「福岡市内では、自転車利用者が非常に多いが、八女市、広川町では、自転車の姿はあまり見かけず、車の利用者が殆どであり、交通事情の違いを感じた。」「交番勤務を通じ、飲酒上のトラブル、寝込みなど、飲酒に絡む事案が非常に多いように感じ、対応が分からずに苦労した。」旨の回答があった。
- 委員から「将来は、警察でどのような仕事をしたいか」旨の質疑があり、新任配置警察官から、「生活安全課少年係員となり、少年犯罪の未然防止に努めたい。」「自動車警ら隊で勤務し、いち早く現場にかけつけ、市民を守りたい。」「少年柔道の指導をしていることから、少年らが犯罪被害者にならないための仕事をやりたい」旨の回答があった。
- 委員から、「八女市役所では、毎年20人ほどの新卒者を採用しており、折角の機会なので、様々な交流、協力をしていきたいと考えている。」旨の意見が出された。
- 署長から、地域警察官が通常勤務時に装着している装備品（耐刃防護衣、警棒、手錠、けん銃、無線機等）を紹介したところ、委員らから、総重量の重さに驚きの声が上がった。

【管内情勢報告】

1 現状と課題

- (1) 刑法犯認知件数の推移
- (2) 重点犯罪別の認知件数（八女署、令和元年8月末）
車上ねらい発生状況（交番別）

2 抑止対策

- (1) 車上ねらいを始めとした犯罪被害防止に向けた対策の推進
- (2) ニセ電話詐欺の被害防止に向けた対策の推進
- (3) 子供の安全を守るための対策の強化

3 管内の交通事故情勢

- (1) 人身交通事故の発生状況
 - ア 福岡県内
 - イ 八女警察署管内
- (2) 特徴的傾向
- (3) 特異な事故事例

議 事 概 要

- ア 死亡事故
- イ 重傷事故
- (4) 交通事故抑止のための主な取組
 - ア 交通指導取締り
 - イ 交通安全教育
 - ウ 道路環境の点検整備
 - エ 広報啓発活動

【質疑応答】

- 委員から「ニセ電話詐欺の被害防止対策として、ニセ電話詐欺被害防止機器の普及促進とあったが、どのような機器か教えてほしい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「話の内容を録音することを相手に事前に警告する機能などが付いた電話機のこと、電話機を購入しなくても録音機能だけを接続する機器も販売されている。」旨の回答があった。
- 委員から「車上ねらいが多発していたが、傾向や特徴を教えてほしい。また、スマートキーの電波を利用したリレーアタックという手口の車上ねらいの発生があるか教えてほしい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「深夜から朝方の時間帯において、集合住宅の駐車場や一般住宅の敷地内に駐車中の車両が狙われている。車内の見える場所に荷物がある車両が狙われる傾向にあり、窓ガラスを割って窃取されている。連続犯行の被疑者は検挙しているものの、依然として発生は続いている。」旨の回答があった。
- 委員から「アクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故の報道をよく耳にするが、八女署管内でも発生しているか教えてほしい。」旨の質疑があり、交通課長から「踏み間違えて壁や店舗の出入口に衝突する事故が発生している。」旨の回答があった。
- 委員から「最近、報道やインターネット動画などで、煽り運転の映像をよく見るようになり、私自身も煽り運転を受けた経験があるが、どのように対応したらいいか。また、八女署管内における煽り運転の発生状況を教えてほしい。」旨の質疑があり、交通課長から「煽り運転に対する関心が高いこともあり、八女警察署管内でも煽り運転に関する通報は度々入電している。中にはドライブレコーダーの映像を持参する方もいる。重傷事故の未然防止のためにも、個々の状況に応じて適正な取締り活動を行っている。もし、煽り運転を受けるなど危険を感じた場合は、コンビニなどに助けを求めたり、駐車場等のスペースに車を停車し、ドアロックをして、110番通報すること。交通違反を検挙するためには、客観的な証拠が必要であり、ドライブレコーダーは、映像として証拠が残るので非常に有効である。」旨の回答があった。
- 委員から「道路幅員の狭い所に道路ギリギリに設置されている自動販売機をよく見かける。車両の対向離合時に危険であり、自動販売機の利用客も危険であるが、設置基準などはないか教えてほしい。」旨の質疑があり、交通課長から「自動販売機業者と敷地の所有者との契約に係る問題であり、原則、道路にはみ出さず、敷地内に設置されているのであれば、適法と考えられる。自動販売機が原因

議 事 概 要

となった事故の発生や危険な箇所がある場合は、その業者や敷地の所有者に対する自動販売機の設置方法等、その原因の問合せや指導は可能と考えられる。」旨の回答があった。

- 委員から「児童の登校時に見守り活動をしている保護者から、朝の登校の時間帯に車両が通学路を猛スピードで通行していくので危険であるとの話を聞いた。保護者らによる見守り活動では、猛スピードで通行する車両の抑止にはなっていないので、登校の時間帯の警察によるパトロールを強化することはできないか。」旨の要望があり、交通課長から「通勤通学時間帯の交通取締り、パトロール活動を強化しているところであり、本日も早朝から白バイによるパトロールを行っている。緊急の事案等が入った場合は、難しいが、要望の通学路のパトロールを強化させる。」旨の回答があった。
- 委員から「先ほど通学路における危険車両情報の話があったが、八女市では、学校による通学路の道路環境の点検結果を情報共有し、毎年取りまとめを行っているので、警察等と連携して対応を考えて行きたいと思う。また、パトロールの強化に関しても、ある一部分を強化すると他が手薄になるので、教職員や保護者が協力して見守り活動を行うこと大切であると思う。」旨の意見が出された。
- 委員から「65歳以上の高齢者による交通事故が平均より多いとの話があった。高齢者による交通事故の抑止のため、八女市では、運転免許証自主返納者に対し、タクシー券を配付する取組を行っており、毎月約40件の申請を受け付けているが、車がなければ生活できない地域もあり、その地域住民に対する対応が課題である。現在行われているシニアドライビングスクールで、高齢者が自身の運転技術を再認識してもらい、交通事故抑止に繋がればと考えている。」旨の意見が出され、交通課長が「シニアドライビングスクールは、実際に運転して、自分の身体能力の低下を実感するという意味で非常に有効なものである。また、八女市の運転免許証の自主返納者に対するタクシー券の配付事業は、県内でも1、2を争うほどの有効な事業であり、高齢者の自主返納に大きく貢献している。」旨の回答があった。
- 委員から「街中でパトカーの姿を見ることが非常に多く、他の地域住民からも、よく見かけるから安心するとの話を耳にする。市民は、パトカーの姿を見て安心を感じるものなので、引き続きパトロールの強化をお願いしたい」旨の意見が出された。
- 委員から「最近、自宅に警察官の巡回連絡が来ていないように感じるが、現在も行われているのか教えてほしい」旨の質疑があり、黒木警部交番所長から「巡回連絡は、強化月間を設けるなどして、現在も取り組んでいる重要な業務の一つである。各警察官には受持ち地域が定められ、巡回しているところであるが、事件事故の処理など、業務によって進捗に差が出ているところもあるので、制服の警察官が巡回連絡に来た場合は、協力をお願いしたい。」旨の回答があった。
- 委員から、「これまで、八女署管内の暴力団事務所には、車両が1台程度駐車しているだけであったが、最近は、3、4台が常駐しているなど、活動が活発化しているのではないかと感じる。付近の住民は不安を感じているので、引き続き暴力団に対

(A4) 様式第3号 (第5、第6の1、第6の2関係) (その2)

議 事 概 要

する警戒の強化をお願いしたい。」旨の意見が出された。

【閉会】

以上をもって会議を終了した。